

人 第 7 8 6 号
令和2年11月18日

各 所 属 長 様

総 務 部 長

年末年始における休暇取得の促進について（通知）

休暇の取得促進については、「年次休暇取得“プラス2運動”」において、各職員が昨年より2日多い年次休暇の取得を目指しているところですが、令和2年上半期の実績は5.1日にとどまり、福井県特定事業主行動計画（第3期）に掲げる10.3日の目標達成が困難な状況にあります。

また、先月に新型コロナウイルス感染症対策分科会から政府に対して行われた提言の内容を踏まえ、国から各地方公共団体に対し、年末年始の休日に加えて、その前後でまとまった休暇を取得することを奨励するよう依頼がありました。

つきましては、下記のとおり年末年始の休暇取得を促進してください。

あわせて、年末年始には会食等の機会が増えることから、感染拡大防止について、別添資料を踏まえた対応をとるよう職員への周知をお願いします。

記

- 1 令和2年12月24日から令和3年1月11日までを年末年始の「休暇取得促進期間」とするので、期間中、職員が12月28日または1月4日を含めて3日以上の年次休暇を取得できるよう、休暇取得計画表の見直しを行い（令和2年4月30日人第306号総務部長通知参照）、所属長による各職員の取得予定の確認を徹底するなど、あらかじめ各所属において調整すること。（ただし、公務の運営に著しい支障が生じる場合は除く。）
- 2 期間中に予定する業務（各種行事を含む。）について、見直しや運営上の工夫を実施するなど、休暇を取得しやすい環境づくりに努めること。

【年末年始のスケジュール】

12月								1月										
24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
○	○			◎							◎	○	○	○	○			

担当：人事課人事G
(内線2051)

感染リスクを下げながら親睦会を楽しむ工夫

[推進期間：11月～1月31日]

○ 開催時期を11月～1月に分散

- ・12月下旬の開催に集中せず、時期を計画的に分散して開催しましょう！

○ 人数は少人数で

- ・課員を少人数にグループ分けしましょう！
(例)・課長班・参事班・課長補佐班…
 - ・主事会・主査会・GL会…
 - ・くじ引きで、Aグループ・Bグループ・Cグループ…
 - ・行きたいお店で、フレンチ派・越前がに派・ステーキ派…

※業務継続の観点から、課長と課長補佐はグループを分ける、同じグループ員は分散させるなどの工夫をしてください。

！楽しむポイント！

他のグループ員など、普段は交流が少ない課員と交流を深めましょう

○ 「感染防止徹底宣言」ステッカー掲示店で

- ・「感染防止徹底宣言」ステッカーが掲示されている店舗で、店舗が実施している対策に協力しましょう！

！楽しむポイント！

少人数のグループで話し合っ、行きたいお店を決めましょう

○ 時間は短めに

- ・時間は短く、深酒・はしご酒などはひかえましょう！

！楽しむポイント！

2次会に使う予定だった親睦会費で、テイクアウトも利用しましょう

○ 感染防止対策を徹底

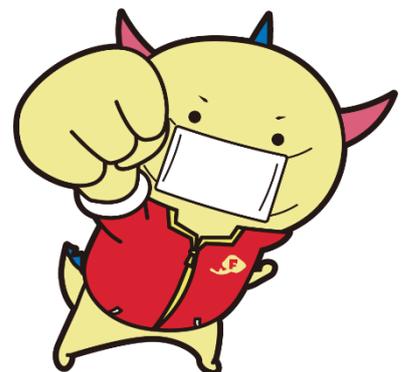
- ・注ぎ合いや回し飲み、箸などの共用はせず、一人ひとりで
- ・会話をする時はマスクを着用、または扇子やハンカチを口にあてましょう！

親睦会を楽しむために

☑ 参加者同士で、お互い確認しましょう

チェック	内容
<input type="checkbox"/>	体調が悪い人はいませんか ※体調が悪い人は参加しないようにしましょう
<input type="checkbox"/>	少人数ですか
<input type="checkbox"/>	正面や真横はなるべく避けて座っていますか
<input type="checkbox"/>	店舗が実施している感染防止対策に協力していますか ※「感染防止徹底宣言」ステッカーが掲示されている店舗で、店舗が実施している対策に協力しましょう
<input type="checkbox"/>	注ぎ合いや回し飲み、箸などの共用をしていませんか
<input type="checkbox"/>	会話をする時はマスクを着用、または扇子やハンカチを口にあてていますか
<input type="checkbox"/>	時間は短めにしていますか ※深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で楽しみましょう

感染リスクを下げながら、
親睦会を楽しもう！



緊急事態宣言を解除後、ほぼ半年が経過しようとしている。今冬をしっかりと乗り越えるためには、これまでの対策について評価することが必要である。

新型コロナウイルス感染症は、屋外で歩いたり、十分に換気がされている公共交通機関での感染は限定的であると考えられる。本感染症の伝播は、主にクラスターを介して拡大することから、今冬に備えるためには、クラスター連鎖をしっかりと抑えることが必須である。

9月25日の分科会では感染リスクを高めやすい「7つの場面」を示した。その後、各自治体とのヒアリングなどを通してクラスターの分析がさらに進んだことから、今回、「5つの場面」に整理し、提示することにした。

さらに、飲酒を伴う会食においてクラスターの発生が多く見られていることから、「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を取りまとめた。

政府においては、「感染リスクが高まる5つの場面」及び「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を、国民・社会に幅広く伝わるよう発信して頂きたい。

感染リスクが高まる「5つの場面」

【場面1】 飲酒を伴う懇親会等

- ・飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- ・特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- ・また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。

【場面2】大人数や長時間におよぶ飲食

- ・長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- ・大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

【場面3】マスクなしでの会話

- ・マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- ・マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- ・車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

【場面4】狭い空間での共同生活

- ・狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- ・寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

【場面5】居場所の切り替わり

- ・仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- ・休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

<利用者>

- ・飲酒をするのであれば、①少人数・短時間で、
 - ②なるべく普段一緒にいる人と、
 - ③深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で。
- ・箸やコップは使い回さず、一人ひとりで。
- ・座の配置は斜め向かいに（正面や真横はなるべく避ける）。
（食事の際に、正面や真横に座った場合には感染したが、斜め向かいに座った場合には感染しなかった報告事例あり。）
- ・会話する時はなるべくマスク着用。（フェイスシールド・マウスシールド※¹はマスクに比べ効果が弱いことに留意が必要※²。）
 - ※¹ フェイスシールドはもともとマスクと併用し眼からの飛沫感染防止のため、マスクシールドはこれまで一部産業界から使われてきたものである。
 - ※² 新型コロナウイルス感染防止効果については、今後さらなるエビデンスの蓄積が必要。
- ・換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドライン★を遵守したお店で。
- ・体調が悪い人は参加しない。

<お店>

- ・お店はガイドライン★の遵守を。
（例えば、従業員の体調管理やマスク着用、席ごとのアクリル板の効果的な設置、換気と組み合わせた適切な扇風機の利用などの工夫も。）
- ・利用者に上記の留意事項の遵守や、
接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードを働きかける。

【飲酒の場面も含め、全ての場面でこれからも引き続き守ってほしいこと】

- ・基本はマスク着用や三密回避。室内では換気を良くして。
- ・集まりは、少人数・短時間にして。
- ・大声を出さず会話はできるだけ静かに。
- ・共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒の徹底を。

★従業員で感染者が出たある飲食店では、ガイドラインを遵守しており、窓を開けるなど換気もされ、客同士の間隔も一定開けられていたことから、利用客（100名超）からの感染者は出なかった。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

